

(財)食品産業センター 環境委員会NEWS

No.18

平成22年8月3日発行

<http://www.shokusan.or.jp/kankyo/committee/index.html>

(財)食品産業センター環境委員会

事務局 砂田・下田

TEL:03-3224-2384

FAX:03-3224-2398

=====

賛助会員各位

日頃より(財)食品産業センター 環境委員会の活動にご理解とご協力賜り誠にありがとうございます。

配信記事

1. 第16回プラスチック再商品化手法検討会合同会合開催
2. 容器包装リサイクルセミナー報告

1. 第16回プラスチック再商品化手法検討会合同会合

8月2日（月）、中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会 プラスチック製容器包装に係る再商品化手法専門委員会、及び産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会容器包装リサイクルWGプラスチック製容器包装に係る再商品化手法検討会 合同会合（第16回）が開催されましたのでお知らせいたします。

「資料2 プラスチック製容器包装の再商品化手法及び入札制度の在り方に係る取りまとめ（案）」について審議が行われました。

食品産業センターからは、取りまとめ（案）に対して、下記の3点を骨子とする意見を述べるとともに、意見書を提出いたしました。（詳細は、次頁URLの配布資料参照）

- 1) 材料リサイクル手法の優先的取扱いは廃止すること
- 2) サーマルリカバリーの条件を緩和すること
- 3) 製品プラスチックのリサイクルは容リ制度に含めるべきでないこと

また、占部（新日本製鉄）、大垣（JFEスチール）、今泉（昭和電工）、勝浦（プラスチック工業連盟）、河合委員（プラ容器リサイクル推進協）からも意見書が提出されました。

審議の結果、消費者の取り組みについての記載を充実させた上で、「取りまとめ（案）」が決定されることとなりました。

占部委員より反対意見があったことを併記してほしいとの要望が出され、座長から何らかの形で記載するとの発言がありました。

これを受けて、勝浦、河合、花澤委員からもその併記に加えていただきたいとの発言があり、了承されました。

※第16回合同会合配付資料

<http://www.shokusan.or.jp/kankyo/committee/goudoukagou16/goudoukaigou16.html>

<議第>

- (1) プラスチック製容器包装の再商品化手法の在り方について
- (2) その他

<配付資料>

資料1 中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会プラスチック製容器包装に係る再商品化手法専門委員会、産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会容器包装リサイクルWGプラスチック製容器包装に係る再商品化手法検討会合同会合 名簿

資料2 プラスチック製容器包装の再商品化手法及び入札制度の在り方に係る取りまとめ（案）

資料3 容器包装リサイクルに伴う環境負荷等調査結果（未定稿）

※委員提出資料 意見書

2. 容器包装リサイクルセミナー開催

環境委員会NEWS No. 17にてご案内していた容器包装リサイクルセミナーを7月30日に開催いたしました。71名の参加を得て、始めに農林水産省の矢花講師のご講演、続いて環境委員会委員による食品業界の取り組み紹介を行い、次期容器包装リサイクル法の改正に向けて、盛況で有意義な勉強会となりました。

<演題、講師>

「容器包装リサイクル法 制定・改正の経緯」

講師：農林水産省食品環境対策室 矢花室長

「容器包装リサイクル法の課題と次期改正にむけて」～食品業界の取り組み～

講師（財）食品産業センター環境委員会 渡辺委員、村上委員

※容器包装リサイクルセミナー配付資料

<http://www.shokusan.or.jp/kankyo/committee/seminar/shiryou20100730.html>

※環境委員ニュースは、メール又はFAXで配信しています。

添付資料等により送付部数が多くなり場合がございます。

そのため、出来るだけメール配信でお願いしたく考えます。

現在、FAXで配信させていただいている方で、メール配信にご変更いただける方は、事務局までご連絡をお願いします。

(財) 食品産業センター 技術環境部

環境委員会 事務局 砂田、下田

TEL:03-3224-2384 / FAX:03-3224-2398

Mail : c-sunada@shokusan.or.jp
